

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-1-3		事業名	合流式下水道の改善事業			
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 白鳥 818-3441						
全 体 計 画							
事 業 内 容	<p>大雨の時などに、汚水の混じった雨水が流れ出て川を汚してしまう問題を解決するため、吐口(はきぐち)対策や、雨の降り始めの特に汚れた下水を一時的に貯める下水道管(貯留管)の整備などを実施する。</p>						
	<b>&lt;年 度 別 の 事 業 内 容 &gt;</b>						
	19年度	豊平川雨水貯留管の基本設計 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置 雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法) に関する調査					
	20年度	豊平川雨水貯留管の実施設計 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置 雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法など) に関する調査					
	21年度	豊平川雨水貯留管新設工事 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置					
	22年度	豊平川雨水貯留管新設工事 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置					
事 業 内 容	<b>平成19年度事業内容(決算)</b>						
事 業 内 容 ・ 量 ・ 場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊平川雨水貯留管の基本設計</li> <li>・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 7カ所</li> <li>・雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法)に関する調査             雨天時活性汚泥法            水再生プラザにおいて、処理の工程を工夫することにより、雨天時に通常の2~3倍の下水を処理する方法。         </li> </ul>						
	<b>平成20年度事業内容(決算)</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊平川雨水貯留管の実施設計</li> <li>・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所</li> <li>・雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法等)に関する調査</li> </ul>						
規 模 ・ 件 数 等	<b>平成21年度事業内容(決算)</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊平川雨水貯留管の工事着手</li> <li>・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所</li> </ul>						
	<b>平成22年度事業内容(予算)</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊平川雨水貯留管の工事(継続)</li> <li>・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 2カ所</li> <li>・新川水再生プラザへの雨天時活性汚泥法の導入</li> <li>・手稲処理区における合流改善事業計画の策定</li> <li>・水再生プラザ及びポンプ場におけるきょう雜物除去対策に関する調査</li> </ul>						

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-1-3		事業名	合流式下水道の改善事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
吐口対策実施済数(累計)	6カ所	13カ所	17カ所	21カ所	23カ所	22カ所	
豊平川貯留管の整備進ちょく率	-	-	1%	1%	21%	35%	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加</p> <p>下水道事業パンフレットの配布、インターネットホームページや下水道科学館の活用等により、下水道事業のPR及び市民の理解の促進を図る中で、合流式下水道の改善事業についても公表している。また、下水道モニター制度、市営企業調査審議会等により市民意見の収集、情報の共有化を図っている。</p> <p>企業等との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[資金協力]</li> <li>[人材協力]</li> <li>[情報協力]</li> <li>[その他の協力]</li> </ul> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)				課題			
<p>豊平川雨水貯留管については、合流式下水道の改善だけではなく、浸水対策としても有効に活用できる施設として工事に着手できた。</p> <p>また、吐口対策については、ほぼ予定通りに事業を実施することができた。</p>				<p>合流式下水道の改善については、豊平川処理区及び新川処理区のほか手稲処理区で対策を進めるが、雨水貯留管による整備は大きな効果が得られる反面、多額の費用を要することから、より効率的な技術について調査・検討が必要である。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>豊平川雨水貯留管について26年度の完成を目指すとともに、吐口対策についても、より経済的な方法である渦流式水面制御装置を適用可能な箇所に導入していくなど、引き続き合流式下水道の改善事業を進めていく。</p>							

## 樣 式 1

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)